



第33回 美人画研究会 開催！ 参加者募集!!

【日時】 2024年7月28日（日） 13:30～17:00

【場所】 江東区森下文化センター第3研修室（3F）

<アクセス> 都営新宿線、大江戸線 森下駅 A6 出口、半蔵門線 清澄白河駅 A2 出口より徒歩 8 分

【参加費】 500 円

【テーマ】 時代が求める「推し」の顔——縄文顔・弥生顔との関連も踏まえて
時代によって人気のある顔が異なるとしたら、それはどんな顔でしょうか？
日本人の基本的顔タイプ＝縄文顔と弥生顔＝を踏まえて共同研究いたします。

【プログラム】

●第1部 13:30～14:50 研究発表（各約15分）とディスカッション

- ①「江戸初期から明治大正までの推しの顔—浮世絵美人を中心に」畑江麻里 浮世絵研究者
- ②「昭和—それは縄文顔と弥生顔のせめぎあい」松永伸子 顔学会会員・クリエイティブメンバー
- ③「絵画に描かれた平安～江戸～現代美人を縄文顔と弥生顔を踏まえて分析する」

城戸崎雅崇 顔学会会員・クリエイティブメンバー

●第2部 15:00～16:50 クリエイティブメンバーによる作品発表とディスカッション

過去・現在・未来のどの時期でも自由に選び、その時期または時代の「推しの顔」を下記のクリエイティブメンバーたちが美人画作品に仕上げ発表します。

麻生りり子・井手晴海・宇田川のり子・河合直樹・城戸崎雅崇・斎藤忍・東観崎繚・松永伸子

※当日の飛び込み発表も歓迎します。なぜその顔が「時代の推し」なのか、あるいは「自分の推し」なのかを是非発表してください。

◎参加のお申し込みは7月22日(月)までにメールで 松永宛⇒face_nobu3@yahoo.co.jp

※入室は13:00より可能。17:00までに退室となります。

※終了後、近隣にて懇親会を予定しております。(17:30～19:30)
参加可能な方のご連絡ください。